

平成31年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年7月13日

上場会社名 株式会社エディア 上場取引所 東
 コード番号 3935 URL http://www.edia.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役CEO (氏名)原尾正紀
 問合せ先責任者 (役職名)管理部門執行役員 (氏名)米山伸明 (TEL)03(5210)5801
 四半期報告書提出予定日 平成30年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年2月期第1四半期の連結業績(平成30年3月1日~平成30年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年2月期第1四半期	336	—	△106	—	△125	—	△126	—
30年2月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 31年2月期第1四半期 △126百万円(—%) 30年2月期第1四半期 —百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年2月期第1四半期	△31.19	—
30年2月期第1四半期	—	—

当社は平成30年2月連結会計年度末より連結財務諸表の作成を始めたため、平成30年2月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年2月期第1四半期	1,891	1,072	56.6
30年2月期	1,217	815	66.9

(参考) 自己資本 31年2月期第1四半期 1,071百万円 30年2月期 814百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年2月期	—	—	—	—	—
31年2月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年2月期の連結業績予想(平成30年3月1日~平成31年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,500	—	22	—	15	—	12	—	3.00

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は平成30年2月期連結会計年度は、貸借対照表のみを連結しているため、対前年度及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)ー、除外 一社(社名)ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年2月期1Q	4,390,200株	30年2月期	3,991,200株
31年2月期1Q	45株	30年2月期	45株
31年2月期1Q	4,043,459株	30年2月期1Q	3,432,800株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当決算短信提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

なお、前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期との比較は行っておりません。

(1) 経営成績に関する説明

当社を取り巻く環境におきましては、平成29年度のスマートフォン出荷台数が前年比8.7%増の3,199.4万台と平成24年を抜いて過去最高の出荷実績となりました（株式会社MM総研調べ、平成30年2月現在）。今後も、スマートフォンの出荷台数増加及び高性能化に伴い、スマートフォンユーザーの拡大はさらに進展していくものと予想されます。

また、平成28年度におけるモバイルコンテンツ市場は1兆8,757億円（対前年比120%）、中でもスマートフォン市場は1兆8,047億円（対前年比123%）と年々成長を続けており、スマートフォン市場の内、ゲームが1兆1,836億円（対前年比123%）と非常に大きな割合を占めております（一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム調べ、平成29年7月現在）。一方で、当該市場には多くのスマートフォンゲームが投入され、競争が激化しており、より高品質のゲームを投入するために開発費が増加する傾向にあります。

このような事業環境の中、当社ではオタク市場向けコンテンツにフォーカスし、当社の得意とするモバイル周辺の技術及び位置情報とエンタテインメント性を融合させたスマートフォンコンテンツの提供に注力して参りました。

当第1四半期連結累計期間におきましては既存サービスが安定して拡大しており、売上、利益共に改善傾向にあります。また、ゲームサービスにおきましては、前事業年度に引き続き、当社としてのタイトルポートフォリオの変革を図り、収益基盤を拡大すべく新規タイトルの開発に集中しており、本格3DサイバーパンクRPG『BALDR ACE』、香港・台湾で人気の美少女×ロボシミュレーションRPG『魔法軍団WarLocksZ』の事前登録を開始するなど、当事業年度内のリリースに向けた開発に取り組んでおります。

ライフエンターテインメントサービスにおきましては、AppStore、Google Play向け本格ナビゲーションアプリ『MAPLUS+声優ナビ』で、アニメ「けものフレンズ」から「どうぶつビスケッツ」と「PPP」のキャラチェンジセットを追加すると共に、音楽ゲームアプリ『SHOW BY ROCK!!』ではニコニコ生放送での特別企画やアプリ連動企画を行うなど再成長に向けた施策を継続しております。

平成30年2月に子会社化した株式会社ティームエンタテインメントが手掛けるコンテンツコラボレーションカフェ・グッズサービスにおきましては、2018年3月に新店舗『mixx garden（ミックスガーデン）』を池袋にオープンし、人気IPタイトル「スタンドマイヒーローズ」や「血界戦線 & BEYOND」とのコラボカフェをスタートさせるなど、音楽レーベルサービスと併せて収益に貢献いたしました。

以上の通り、既存サービスの拡大や新サービスの展開により安定した収益計上があるものの、収益基盤の強化に向けた積極的な開発及び先行投資を行ったことによる費用増加の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は336,774千円、営業損失は106,232千円、経常損失は125,381千円、四半期純損失は126,119千円となりました。

なお、当社グループはエンターテインメントサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は1,891,170千円となり、前連結会計年度末に比べ673,492千円の増加となりました。これは主に現金及び預金、無形固定資産の増加によるものであります。

負債合計は818,299千円となり、前連結会計年度末に比べ415,865千円の増加となりました。これは主に短期借入金の増加によるものであります。また、純資産合計は1,072,871千円となり、前連結会計年度末に比べ257,627千円の増加となりました。これは、当第1四半期連結累計期間が四半期純損失となり利益剰余金が減少したものの、EVO FUNDによる新株予約権の行使により資本金及び資本準備金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年4月12日付「平成30年2月期決算短信〔日本基準〕(連結)」において発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	521,387	1,064,702
売掛金	186,939	195,885
商品及び製品	31,968	30,865
仕掛品	10,620	12,940
原材料及び貯蔵品	137	88
前払費用	22,524	32,411
未収入金	299	613
未収消費税等	38,244	44,061
その他	181	1,119
貸倒引当金	△85	△81
流動資産合計	812,216	1,382,606
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	16,236	16,009
工具、器具及び備品(純額)	8,504	9,132
有形固定資産合計	24,741	25,141
無形固定資産		
ソフトウェア	44,053	47,743
ソフトウェア仮勘定	248,004	345,350
のれん	37,773	35,884
無形固定資産合計	329,831	428,978
投資その他の資産		
敷金及び保証金	49,374	49,089
その他	1,513	5,353
投資その他の資産合計	50,888	54,443
固定資産合計	405,461	508,563
資産合計	1,217,677	1,891,170

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年2月28日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	86,691	102,474
短期借入金	—	400,000
1年内返済予定の長期借入金	123,426	109,656
未払金	71,163	81,251
未払費用	18,181	16,827
未払法人税等	6,363	3,605
預り金	9,011	17,578
賞与引当金	15,499	30,728
情報利用料引当金	6,851	5,754
返品調整引当金	6,623	6,708
その他	1,875	3,131
流動負債合計	345,685	777,715
固定負債		
長期借入金	56,748	40,584
固定負債合計	56,748	40,584
負債合計	402,433	818,299
純資産の部		
株主資本		
資本金	791,171	982,303
資本剰余金	781,171	972,303
利益剰余金	△757,368	△883,488
自己株式	△89	△89
株主資本合計	814,885	1,071,028
新株予約権	358	1,842
純資産合計	815,244	1,072,871
負債純資産合計	1,217,677	1,891,170

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
売上高	336,774
売上原価	175,767
売上総利益	161,006
販売費及び一般管理費	267,239
営業損失(△)	△106,232
営業外収益	
受取利息	2
受取補償金	1,286
その他	33
営業外収益合計	1,322
営業外費用	
支払利息	832
新株予約権発行費	5,720
違約金	13,415
その他	502
営業外費用合計	20,471
経常損失(△)	△125,381
税金等調整前四半期純損失(△)	△125,381
法人税、住民税及び事業税	738
法人税等合計	738
四半期純損失(△)	△126,119
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△126,119

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年3月1日 至平成30年5月31日)
四半期純損失(△)	△126,119
四半期包括利益	△126,119
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△126,119

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間において、EVO FUNDによる新株予約権の権利行使があり、資本金が191,131千円、資本準備金が191,131千円増加しました。この結果、当第1四半期連結累計期間末において資本金が982,303千円、資本剰余金が972,303千円となっております。

(セグメント情報等)

当社グループはエンターテインメントサービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。